

## IWAD 環境福祉リハビリ専門学校の情報提供について

IWAD 環境福祉リハビリ専門学校では、学校教育法、専修学校設置基準、更には各種関係法令を遵守して、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいます。本校は、みどりの環境分野と福祉分野及び医療分野を結ぶ人材育成を行う教育機関として実践的職業教育を提供しています。本校は、こうした役割を担うに当たって、本校の情報を提供し、本校の教育活動への理解と協力及び産業界との連携を促進することによって、産業界・所轄庁・学生・保護者・地域社会との信頼関係をより強めていきたいと考えています。そのために、以下の項目について情報提供しています。項目によっては、現在実施中のものも含め、最新の情報となるように努めています。

### 1、学校の概要、目標及び計画

- (1) 基本理念・目的及び教育方針
- (2) 理事長及び学校長名、所在地、連絡先等
- (3) 学校の沿革、歴史
- (4) 学校保健安全計画

### 2、各学科等の教育内容

- (1) 入学者に関する受け入れ方針及び収容定員、在校生数
- (2) カリキュラム
- (3) 進級・卒業の要件等
- (4) 卒業者数、卒業後の進路

### 3、組織及び教職員の状況

- (1) 教職員の組織
- (2) 教職員数

### 4、キャリア教育・実践的職業教育

- (1) キャリア教育への取組状況
- (2) 実習・実技等の取組状況
- (3) 就職支援等への取組支援

### 5、様々な教育活動・教育環境

- (1) 学校行事への取組状況
- (2) 課外活動

### 6、学生の生活支援

- (1) 学生支援への取組状況

### 7、学生納付金・就学支援

- (1) 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）
- (2) 奨学金、授業料減免等の経済的支援措置

### 8、学校の財務状況

### 9、学校評価

- (1) 学校自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策
- (2) 学校関係者評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策

### 10、国際連携の状況

- (1) 留学生の受け入れ状況

### 11、学則、その他の提供する情報

- (1) 学則

IWAD 環境福祉リハビリ専門学校ホームページ (<http://www.iwad.ac.jp>) にて、本校の情報提供指針に基づいて、本校の情報を提供しています。

問い合わせ先：

学校法人 ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校  
〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町 14-22 TEL:082-254-9000  
情報提供責任者：事務局長 藤井 義明

## 1、学校の概要、目標及び計画

### (1) 基本理念・目的・教育方針

基本理念：個人の自立と社会に貢献できる人材育成

目的：・スペシャリスト養成・自立（精神的・経済的自立）

教育方針：

Humanity(人間性)・Hope (希望)・Personality (個性)・Future (未来)

人間性、個性を大切にし、人の持つ可能性を引き出し、豊かな人生を一人ひとりが送ることが出来るような基礎教育を行う。

### (2) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等

学校法人ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校

理事長・校長：平田 富美子

所在地：〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町 14-22

連絡先等：TEL: 082-254-9000 FAX: 082-254-9500

E-mail: [main@iwad.ac.jp](mailto:main@iwad.ac.jp)

### (3) 学校の沿革、歴史

平成 7年 3月 広島県認可 各種学校 IWAD 女子技術学校を開校。

通産省・第二種電気工事士養成校指定、労働省・技能検定受検職種指定校

平成 9年 4月 総合環境デザイン学科とし、造園科・インテリア科・電気科とする

10月 広島市の認可、ホームヘルパー養成講座（2級課程・3級課程）を始める。

平成 11年 2月 夜間講座1年コースで園芸療法士補養成講座を開講。

5月 雇用・能力開発機構より中高年者就職支援委託訓練コースを受ける。

12月 伴実習農場内に、ガーデニングハウスをオープン。

平成 12年 2月 労働省より教育訓練給付金制度の指定講座となる。

8月 広島県より「訪問介護員養成研修事業者」の認可指定 1級・2級・3級課程

平成 14年 3月 中区舟入本町から南区比治山本町へ学校移転

専修学校設置認可申請、IWAD 環境福祉専門学校として平成 15 年度生募集開始。

平成 15年 1月 厚生労働省から精神保健福祉士一般養成施設（夜間課程・1年制）の指定認可。

3月 厚生労働省能力開発局から IWAD 環境福祉専門学校として専修学校指定

4月 IWAD 環境福祉専門学校 開校。

平成 16年 5月 IWAD 女子技術学校を校名変更し、IWAD テクニカルカレッジとする。

平成 16年 6月 広島県推薦で内閣府より、男女共同参画社会推進「第1回チャレンジ支援大賞（内閣官房長官賞）」を受賞する。

平成 18年 4月 介護福祉士養成施設（昼間課程2年制・夜間課程3年制、定員各35名）開設する。

平成 18年 7月 文部科学省 大臣官房政策課より取材を受け、専門学校として全国で初めて「文部科学時報」（7月号）に掲載される。

平成 18年 10月 広島県立中央森林公園での「第30回全国育樹祭（皇太子殿下出席）」のメイン会場

花壇の設営を緑の環境学科及び福祉療法学科の学生が担当

- 平成19年 4月 平田理事長 人間・植物関係学会 登録園芸療法士の認定を受ける。
- 平成19年 5月 広島フラワーフェスティバル実行委員会よりメイン会場「花の塔」の制作依頼を受ける。
- 平成20年 4月 安芸区瀬野に「せの農場」を開場。
- 平成20年12月 「日本園芸療法学会」発足に伴い、平田校長が理事に就任。学会認定校となる。
- 平成21年 3月 (財)広島市動植物園・公園協会より、広島市の緑化推進「奨励賞」を受賞。
- 平成21年 4月 みどりの環境学科に中四国では初の「農業ビジネスコース」(昼間課程 2年制)を開設。
- 平成21年 7月 国土交通省より造園ランドスケープコース2年課程卒業者への造園施工管理1級・2級の技術検定受験資格が認められる。
- 平成21年 9月 認定NPO法人自然環境復元協会の「環境再生医」資格認定校となる。
- 平成22年 4月 みどりの環境学科に「自然環境再生コース」(昼間課程・2年制)を開設。
- 平成22年10月 (財)日本緑化センター「樹木医補」資格認定校となる。  
(財)日本生態系協会「ビオトープ管理士」資格認定校となる
- 平成23年 4月 みどりの環境学科「農業ビジネスコース」(昼間課程・2年制)を、農業専門課程・農園芸学科・「農園芸生産コース」とする。中四国の専門学校として初の農業課程開設。
- 平成23年10月 産官学共同開発「ひろしま式移動レイズドベット(立ち上がり花壇)」が、ひろしまベンチャー育成基金より銀賞を受賞。  
日本園芸療法学会最上位認定資格 専門登録園芸療法士認定カリキュラム校になる(東京農業大学と当校の2校)。
- 平成24年 4月 広島県より農園芸学科が「就農準備型研修機関」に認定される。
- 平成25年 3月 広島県より学校法人ひらた学園の設置認可。学校法人ひらた学園 IWAD 環境福祉専門学校となる。
- 平成25年 4月 福祉療法学科に「こども夢未来コース」(昼間課程・2年制)を開設、保育士・幼稚園教諭資格取得で近畿大学豊岡短期大学通信課程の教育連携校となる。
- 平成25年10月 第6回日本園芸療法学会広島大会を主催する。会場は県立広島大学宇品キャンパス。  
IWAD園芸療法協会を承継、NPO法人日本ホルティセラピー協会を設立し認証される。
- 平成26年 4月 文部科学大臣により「職業実践専門課程」としてみどりの環境学科・農園芸学科・介護福祉学科の3学科の認定を受ける。
- 平成26年 6月 ひろしまフラワーフェスティバル「花の塔」の長年の制作活動が認められて、(一財)日本造園修景協会から浅地賞・特別賞を受賞。
- 平成27年 4月 農園芸学科の専用農場(水稻・葉物・根菜・果樹)として併に第3農場を開設。
- 平成27年 3月 リハビリテーション学科開設のため本館向かいに2号館を取得。
- 平成29年 4月 厚生労働省・県からリハビリテーション学科(理学療法コース/3年課程・昼間、作業療法コース/3年課程・夜間)の設置認可を受けて学科スタート。  
県から人間総合福祉学科・こども保育コース(2年課程・昼間)の設置認可を受けてコースがスタート。  
学校名を IWAD 環境福祉リハビリ専門学校に変更
- 平成29年10月 広島商工会議所より IWAD 設立30周年の表彰を受ける。

(4) 学校保健安全計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健計画	学生健康診断	要検査学生への対応		全校大掃除中の健康管理指導	水質検査			教職員健康診断	健康管理指導	全校大掃除・インフルエンザ予防接種中の健		全校大掃除中の健康管理指導
安全計画	ンオリエンテーション	全校防災避難訓練	防犯講習	休暇中の生活指導					休暇中の生活指導			休暇中の生活指導

2、各学科等の教育内容

(1) 入学者に関する受入れ方針及び収容定員、在校生数

ア) 入学者に関する受入れ方針(入学資格)

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 学校教育法第56条第1項に定める大学の入学資格を有する者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- (4) その他専修学校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者

イ) 各学科の収容定員、在校生数等 (平成30年5月1日)

昼夜別	課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	在校生数
昼	文化・教養専門課程	みどりの環境学科	2年	30	60	29
昼	農業専門課程	農園芸学科	2年	20	40	12
昼	教育・社会福祉専門課程	人間総合福祉学科	2年	65	130	27
夜	医療専門課程	リハビリテーション学科	3年	35	105	36
				35	105	31
合計				185	440	135

(2) カリキュラム

IWAD環境福祉リハビリ専門学校では、企業等の役職員からなる教育課程編成委員会にて、教育課程編成の基本方針を策定し、企業等との連携によって、授業科目、授業内容、授業方法までを含めた実践的かつ専門的な職業教育を実施しています。

(3) 進級・卒業の要件等

ア) 出席率の計算

本校は1年間の「出席すべき授業」を各学科毎に決めています。これに対して講義、演習、実習の授業、学校行事・校外学習・イベントを含めた1年間の授業に出席した時間数が「出席した授業の回数」として出席率が計算されます。

イ) 成績評価の要素と成績点の算出方法

各授業の成績は、1) 平常点、2) 期末試験を足した成績点として数値で評価されます。

1) 平常点

平常点とは各科目の授業の出席時間だけでなく、授業態度や小テスト・課題・レポート提出などを加えた点数です。

2) 期末試験

前期末（9月）と後期末（2月）に実施される期末試験では各科目の試験を実施します。期末試験の結果と平常点を合わせたものが科目成績となります。

### 3) 成績評価の方法

各科目の成績点は優、良、可、不可の4段階で評価されます。単位を取得できるのは優、良、可の3つです。不可の場合は単位が与えられません。

優 90点以上

良 70点以上～89点以下

可 60点以上～69点以下

不可 59点未満

### ウ) 進級・卒業の要件

本科に所定の修業年限を在学し、所定の授業科目を履修し、試験に合格し所定の単位を取得した者を卒業とし、卒業証書を授与します。

進級・卒業の要件は、(a)出席率と(b)成績です。

#### (a) 出席率

進級または卒業するためには、各科目2/3以上の出席、但し実習科目は4/5以上の出席が必要です。それに満たない学生は特別授業の対象となります。また極端に出席率の悪い学生は卒業・進級不認定となります。

#### (b) 成績評価

各科目の成績評価で「可」以上の成績を取得することが必要です。進級または卒業するためには指定された科目で「可」以上の評価を取得する必要があります。

### エ) 専門士の称号付与

「専門士」は短期大学卒業と同格で大学3年次編入が可能です。

### (4) 卒業者数、卒業後の進路

#### ア) 平成29年度進路状況

平成30年5月1日

	卒業者数		卒業者の内		就職者数	
	男	女	関係分野就職		その他分野就職	
			男	女	男	女
みどりの環境学科	9	4	9	3	0	1
農園芸学科	6	0	6	0	0	0
人間総合福祉学科	3	5	2	1	0	1
リハビリテーション学科	-	-	-	-	-	-
計	18	9	17	4	0	2

就職率：85.2%

### 3、組織及び教職員の状況

#### (1) 教職員の組織

IWAD環境福祉リハビリ専門学校組織図

#### (2) 教職員数

教職員全体表

平成30年5月1日

現在

分類	男			女			計
	常勤・本務	計	非常勤・兼務	常勤・本務	計	非常勤・兼務	

計	19	59	40	9	29	20	88
---	----	----	----	---	----	----	----

#### 4、キャリア教育・実践的職業教育

##### (1) キャリア教育への取組状況

本校では、「ワークガイダンス講習」等の科目や就職支援センターを通じて、以下の方針に基づいてキャリア教育を行っています。

- 1) 就職や進学といった進路に関する知識を深める
- 2) 各業界や分野の様々な職種を理解する
- 3) 学生が自らのライフプランを作成する
- 4) それぞれの進路に進むためにどのような知識や技術が必要となるか、どのような書類を入手しておく必要があるか、スケジュールも含め検討の上、準備を開始する
- 5) 就職希望の学生には履歴書の書き方指導
- 6) 大学進学希望の学生には編入など個別に指導
- 7) 就職希望および進学希望の学生に模擬面接指導

##### (2) 演習・実習等の取組状況

本校は、開設以来、演習・実習授業に重点を置き、関係団体や業界からも数多くの講師に就任いただき即戦力に近い人材としての就職を目指しています。職場実習においては、多くの企業や施設等のご協力で、技術や知識の現場指導をいただいている。

##### (3) 就職支援等への取組支援

IWAD 就職・就農支援センターを設置して、企業・施設・ハローワーク・業界団体等からの求人情報を集めて分野毎ファイル形式で学生への閲覧を促進している。各求人先や就職実績先へも定期的に訪問している。学生への就職指導や個別面談等も進路指導室とも連携を図りながら対応、就職に繋げている。

#### 5、様々な教育活動・教育環境

##### (1) 学校行事への取組状況

月	主な学校行事
4月	入学式 一泊リエンテーション
5月	植物公園さくらまつり、フラワーフェスティバル花の塔制作
6月	広島ウオーカリー、就職ガイダンス
7月	夏の懇親会、前期試験
8月	技能士試験
9月	
10月	植物公園グリーンフェア
11月	職場実習、県技能フェア、介護の日フェスタ、就職ガイダンス
12月	冬の懇親会(Xmas)、リハビリ実習
1月	花の祭典、職場実習
2月	卒業研究発表会、後期試験、お茶会
3月	卒業式

##### (2) 課外活動

「地域貢献・社会貢献への意識とその普及・啓発」を目的として、県・市町や業界の行事・イベントに演習授業そしてボランティアとして数多く参加。植物公園行事、フラワーフェスティバル、県技能フェア・福祉フェア、介護の日フェスタ、業界の花の祭典などを通じて地域や業界との交流、就職に

も繋がっている。又、多くの作品も出品して、学生の学習成果を発表する場であるとともに、学生の成果について高評価を得ています。

## 6、学生の生活支援

### (1) 学生支援への取組状況

- ・各学科の学生指導担当教員は、進路指導担当と連携して、学生の希望とスキル、適性にあった進路指導を行っています。出席率の改善、学力向上に努めています。
- ・卒業後の進路は、繰り返し定期的に個別面談を行い、就職担当教員は、就職先の開拓を行ながら就職指導を行っています。
- ・心身の健康管理については、定期的に健康診断を行うとともに、カウンセリング、キャリアコンサルティングを勉強した教員を中心に、多方面からのアドバイスを行い、不登校、退学者の減少につとめています。
- ・休日でも急用等が発生したときは、専用の電話により、専任の職員が対応できる体制をとっています。

## 7、学生納付金・就学支援

### (1) 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）

#### ア) 学納金

##### ・みどりの環境学科

受験料	10,000円
入学金	100,000円
授業料（年間）	650,000円
施設設備費等（年間）	120,000円
実技実習費（年間）	110,000円～230,000円

##### ・農園芸学科

受験料	10,000円
入学金	100,000円
授業料（年間）	650,000円
施設設備費等（年間）	120,000円
実技実習費（年間）	110,000円

##### ・人間総合福祉学科

受験料	10,000円
入学金	100,000円
授業料（年間）	490,000円～650,000円
施設設備費等（年間）	60,000円～100,000円
実技実習費（年間）	130,000円～150,000円

##### ・リハビリテーション学科

受験料	20,000円
入学金	180,000円～200,000円
授業料（年間）	800,000円～860,000円
施設設備費等（年間）	180,000円
実験実習費（年間）	200,000円

#### イ) 納入時期

##### ① 一括納入

② 分割納入（前期、後期）

原則、一括納入としますがそれぞれ相談に応じています。

（2）奨学金、授業料減免等の経済的支援措置

学生の家庭事情や就学態度、成績を総合的に判断して、学費減免など行う制度があります。また、出身高等学校等の推薦による「推薦入学」があります。

## 8、学校の財務状況

学校の財務情報公開については、私立学校法第47条において規定されています。本校では財務情報の公開体制を整備し、公開を実行するための規定を定め、適法な公開を実施します。

## 9、学校評価

（1）自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策

（2）学校関係者評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策

産業界、企業等の役職員、地域の代表者からなる学校関係者評価委員会が、学校関係者評価報告書を作成しています。

## 10、国際連携の状況

（1）留学生の受入れ状況

ア) 留学生の入学手続（資格・選考）について

- ・母国において、高校以上を（最低12年間の学校教育）卒業し、尚且つ日本語教育施設において一定期間の日本語教育を受けた者に対し、筆記試験、書類審査及び面接を行い、選考を行っています。留学生にあっては、日本留学試験230点以上もしくは、日本語能力検定N2レベル以上の者が望ましいとしています。
- ・入学選考は日本語学校の出席成績証明書の提出に加え、日本語試験、面接を実施し、日本語力のレベル、経資支弁力など事細かに調査しています。

イ) 留学生の入学後の生活について

- ・希望者に対し入学時の提携寮の斡旋を行っています。
- ・休日でも急用等が発生したときは、専用の電話により、専任の職員が対応できる体制をとっています。特に母国から離れている留学生が、安心して留学生活ができるようにしています。

## 11、学則、その他の提供する情報

（1）学則

学則を公開しています。

IWAD環境福祉リハビリ専門学校ホームページ（<http://www.iwad.ac.jp>）にて、本校の情報提供指針に基づいて、本校の情報を提供しています。

問い合わせ先:

学校法人 ひらた学園 IWAD環境福祉リハビリ専門学校

〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14-22 TEL:082-254-9000

情報提供責任者：事務局長 藤井 義明